

法 蔵

寺報 法蔵
令和2年正月号
発行 長田善生
日光市大桑町 270
TEL(21)8220
浄土宗 法蔵寺
開創 632 年

お坊さんと話をしよう

〜近寄りやすいお寺を目指して



法蔵寺第 28 世住職

新年明けましておめでとう
ございます。令和になって初
めてのお正月を迎えました。

謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

本年は菩提寺住職の代替わ
りを予定しています。晋山式
(しんざんしき・住職交代式)
挙行など、なにかと協力を
仰ぐこともありますが、ご理
解の上ご協力をお願いします。

さて多くの方が知るお坊さ
ん「一休さん」がこんなこと
を言っています。

正月や 冥土めいどの旅の 一里塚いちりづか

めでたくもあり

めでたくもなし

正月といえば「おめでたい」
ですが、年を重ねてくると、
正月が来るたびに「あの世
|| 死」が近づく、うれしく
ない方もいるでしょう・・・。

私たちは生を受けた以上必
ず四苦(しく)を持ちます。
「生・老・病・死」これが四

法話「お坊さんと話をしよう」
お寺の代替わり「前回の晋山式」
これからの行事予定
晋山実行員会設立・
晋山式日程・協力依頼・質問箱

一面
二面
三面
四面

苦です。なかでも「死」は皆
さん怖いものです。

でも仏様は『死は怖いもの
ではない』といっています。怖い
のは、持っているものを離す
口惜しさ、親しい人と別れる
悲しさなど自分の「欲」があ
るからというのです。だから
年齢を重ねることにこれらを
整理していくと、死はそれほ
ど怖いものではないのです。

また、いつか「死」がくると
覚悟していると、今この時を無
駄に過ごせないとと思うもの
です。輝く「生」と「死」は、
太陽の光と、そこにできる影と
同じように一体なのです。

本来お坊さんは、みなさん
が毎日の生活の中でふと思う
「生」と「死」などの疑問を、

仏法に照らして気軽に話し
していただきました。ところが今は
葬儀・法事くらいしか、お坊
さんとは接点がないという方
が増えています。反省すべき
ことです。

令和の時代は、お寺にもっと
親しみを持ってもらい、気軽
に相談事ができるようになっ
ていかなければならないと思
っています。本年もよろしく
お願いします。 合掌

これからの行事予定

● 除夜の鐘・修正会 しゅしょうえ
大晦日 午後十一時半〜

● 本尊初まいり

一月十六(水) 九時〜正午

令和二年五月に

「住職交代」します。

晋山実行委員会発足

詳細は四面